工賃向上計画書　参考様式（就継Ｂ　通期用）

作成日：平成　29　年　4　月　1　日

平成　　29　年度　　工賃向上計画書（通期）

事業所（施設）名	おおぐち工房Ｉ				事業種別	就労継続Ｂ		
平均工賃の推移	前々年度（平成　27　年度）実績				前年度（平成　28　年度）実績			
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期
	月額	9,333	9,694	9,516	月額	9,507	9,885	9,696
	時間額	110	114	112	時間額	112	120	116
平均工賃の目標	今年度（平成　29　年度）目標				平成　29　年度以降の目標			
	期	上半期	下半期	通期	期	Ｈ　30　年	Ｈ　31　年	Ｈ　32　年
	月額	10,036	10,702	10,369	月額	10,457	10,546	10,632
	時間額	112	121	117	時間額	118	119	120

前々年度と比較した前年度の工賃支給状況					
支払総額		（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向
延べ工賃支払対象者数		（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向
延べ勤務時間数		（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向
平均工賃	月額	（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向
	時間額	（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向

前年度の作業種目及び収入実績	作業種目	前年度収入額	割合	傾向
	受託加工	1,259 千円	13 %	作業予定立てることにより小増加
	自主製造・販売	7,592 千円	81 %	新商品、外部販売強化し増加
	仕入・販売	0 千円	0 %	
	飲食	217 千円	2 %	イートイン利用者が増加
	サービス	0 千円	0 %	
	役務（清掃等）	0 千円	0 %	
	他（　　）	357 千円	4 %	地域との交流重視し価格を下げ減少
	合計	9,425 千円	100 %	

前年度に工賃向上に効果を上げた具体的な事項	毎月新商品作成、パッケージの工夫をする。 新通所者用の作業を増やすなど効率が上がった。 仕事量を把握し内職売り上げ増。
工賃向上のためにクリアーしなければならない課題事項（複数回答可）	（　）販売品に魅力がない　（　）販売品種が少ない （○）販売先が限られている　（　）立地条件が悪い （○）受注単価が安い　（　）多量の注文が受けられない （○）他事業所とのネットワークがない （　）職員の作業負荷増大　（　）利用者の作業負荷増大 （　）職員のコンセンサス　（○）利用者特性 （　）その他（　　）
工賃向上のために優先的にクリアーしなければならない課題の具体的な内容と対応策	内職の工程で利用者全員が出来ない作業がある。 安定した仕事の新たな受注 利用者が増加したため工賃の確保。
今年度計画している改善策（複数回答可）	（○）品質の向上　（　）販路開拓　（○）新商品開発 （　）他事業所とのネットワーク化　（　）内部努力 （　）作業種目の見直し　（　）職員の意識啓発 （　）神奈川県工賃向上支援事業への積極的な参加 （　）その他（　　）
今年度計画している改善策の具体的な内容	内職において利用者ができる作業の増加。 保存が効く商品の研究、作成。 毎月季節のパン、新作パンの作成。 新人の通所者も作れるパンの作成。